

コミュニケーションを生み出す新たな取り組み —「シンビズム」—長野県的美術館連携からの提案

長野県では県内美術館などの学芸員が所属を超えて交流し、同じ立場で協議しながら信州ゆかりの出品作家を紹介するなど美術館の新しい形を提案し、その活動は全国でも稀有な取り組みとして注目を集めています。今回は講師に伊藤羊子氏を迎え、伊藤氏と県内の6名の学芸員が参加者と協働し美術展を企画するワークショップを通して「コミュニケーションとこれからの美術教育」について考えていきます。



講師：伊藤羊子（信州アーツカウンシル チーフコーディネーター）
+シンビズムから6名の館長・学芸員

日時：2023年1月8日（日） 13:00～15:00
オンライン Zoom による 定員30名
申し込みはこちら→2次元コード
参加費：会員，1,000円
非会員（一般）1,500円 学生 500円



<https://inseajpseminar2022-02.peatix.com>



河西見佳
イルフ童画館



佐藤聡史
丸山晩霞記念館



矢ヶ崎結花
太田市美術館
・図書館

中田麻衣子
茅野市美術館

長野県知事

中嶋実
小海町高原美術館

梨本有見
須坂版画美術館

シンビズムのメンバー（各美術館の学芸員と県知事）撮影：田中慶



「造形・美術教育力養成講座」では、「パラダイムシフトの中でのアート」というコンセプトで全3回の連続講座を開き、第一線で活躍されている講師の話と、ワークショップの体験を通して学んでいきます。

公益社団法人 **日本美術教育連合**

International Society for Education through Art in JAPAN

<http://insea-in-japan.or.jp/index.html>